【授業科目】老年看護学特論Ⅱ（老年看護学の実践）　Advanced Gerontological Nursing Ⅱ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
三好 陽子	１年次 後　期	選　択	２	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	老化による身体的・心理的・社会的機能の変化と生活への影響を看護判断の基盤とし、高齢者が持つ複雑な健康問題に対してアセスメントする能力を養う。また、認知症を持つ高齢者と家族のケアマネジメントができる能力を養うとともに、保健医療福祉専門職の連携、効果的なチームアプローチについて探究し、最新の専門的知識に基づき、高齢者・家族への看護を実践する能力を養う。 形式は講義を主とするが、学生のプレゼンテーションを取り入れ、主要なテーマについてレポート課題を提示する。 授業は、実務家教員（三好）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法/プレゼンテーションについては授業内でコメントする。また、提出されたレポートについてはコメントをつけて返却する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①③④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①老化による身体的・心理的・社会的機能の変化をふまえ、生活への影響についてアセスメントすることができる。 ②高齢者の医療・リハビリテーションの特徴について説明できる。 ③認知症高齢者の看護について、疾患の特徴をふまえて説明できる。 ④保健医療福祉専門職の連携・チームアプローチにおける看護の役割について自己の見解を述べることができる。 ⑤老年看護学の実践における専門性と自己の課題について述べることができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	紹介した文献や配布資料は、よく読んで、授業内容の理解や授業での意見交換に生かす（２時間）。 課題に関しては、自らも文献検索・検討を行いプレゼンテーションやレポート作成に生かす（２時間）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	１．高齢者の生活機能の評価と CGA(Comprehensive Geriatric Assessment) ２．老化による身体的機能の変化とアセスメント：フィジカルアセスメント ３．老化による認知機能・心理的機能の変化とアセスメント ４．老化による社会的機能の変化とアセスメント：社会的環境と老年期の健康生活への影響 ５．高齢者と薬物動態 ６．高齢者とリハビリテーション ７．高齢者のリスクマネジメント ８．認知症高齢者の看護（１）：診断・症状・治療 ９．認知症高齢者の看護（２）：非薬物療法と看護 10．認知症高齢者の看護（３）：Person Centered Care、ユマニチュード 11．認知症高齢者の看護（４）：制度・施策の動向と今後の課題 12．End-of-Life における看護：高齢者の終末期医療 13．高齢者施設における老年看護の役割・実践とチームアプローチ 14．高齢者看護における倫理的課題 15．まとめ 全て 三好
評価方法 評価基準	課題に対するプレゼンテーション（３０％）、レポート（７０％）などによって総合的に評価する。

教科書	なし	参考書等	配付資料 参考文献についてはその都度提示する。